

5. その他

(1) フロン類の再利用について

回収したフロン類を再利用する場合は、「フロン類再利用車台連絡」を行う必要があります。フロン類を回収し、再利用用ボンベに充てんした都度、すみやかに「フロン類再利用車台連絡」を行ってください。

フロン類回収工程 > フロン類再利用車台の連絡 >
対象車台の選択 (JPRS2500)

メニューに戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

1. 再利用実施事業者 (自社) 情報

事業所コード	3303030330	事業者/事業所名	品川解体工業 (株) 品川工場	取扱フロン種類	OFC/HFC
--------	------------	----------	-----------------	---------	---------

2. 引取報告済車台の一覧

該当車台 35件です

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン類車種クラス	報告年度	再利用対象選択
2005/09/02	AA111-0110111	AA111	○○○	乗用車等	2005	<input type="checkbox"/>
2005/09/02	BB222-0220222	BB222	△△△	乗用車等	2005	<input type="checkbox"/>
2005/09/02	CC333-0330333	CC333	□□□	乗用車等	2005	<input type="checkbox"/>
2005/09/02	FF666-0660666	FF666	◎◎◎	乗用車等	2005	<input type="checkbox"/>
2005/09/02	KK020-0202020	KK020	@@@	小型バス	2005	<input type="checkbox"/>

(注) 保存、確定等のボタンを押さずにメニューに戻った場合は、入力内容が保存されませんので注意してください。

メニューに戻る 確定

- ① 「2.引取報告済車台の一覧」に表示されている車台の中で、「フロン類再利用車台連絡」を行う車台の「報告年度」欄の「プルダウン」をクリックし、フロン類を再利用した年度を選択します。
※通常は今年度を表示しています。
 - ② 「報告年度」を選択した後、選択した車台の「再利用対象選択」欄をチェックします。
 - ③ 「確定」をクリックします。
- ※ フロン類を回収し、再利用用ボンベに充てんした都度①～③を行ってください。

※ 詳細は「パソコンを利用した移動報告（電子マニフェスト）詳細マニュアル フロン類回収工程編」をご覧ください。

5. その他

(2) フロン類年次報告について

自動車リサイクル法においては、年度終了後1ヶ月以内（4月末まで）に、事業所ごとに以下の項目について電子マニフェストシステムにより1年間の実績報告を行う必要があります。実務上は、回収・引渡しの際に、電子マニフェストシステムに入力されたデータを活用することが可能ですので、報告に必要な業務負荷は大幅に軽減されています。

※毎年4月末までに事業所ごとの年次報告が行われない場合は、その旨が情報管理センターから各都道府県等に報告されることとなります

〔毎年度事業所ごとに定期報告が必要な項目〕

①自動車メーカー等への引度量

- ・前年度中に自動車メーカー等に引き渡したフロン類の種別（CFC/HFC）ごとの量
※自動車メーカー等における引取量が、電子マニフェストシステムの画面上で自動的に計算・表示されるため、これを参考に入力してください。

②再利用量

- ・前年度中に再利用をしたフロン類の種別（CFC/HFC）ごとの量およびフロン類を再利用した使用済自動車の車台番号
※フロン類回収後に行う車台ごと都度の電子マニフェストシステムへの入力により、再利用した車台番号はシステム上で記録されていますが、再利用量については、別途各事業所において把握しておく必要があります。

③保管量

- ・3月末日において保管していたフロン類の種別（CFC/HFC）ごとの量
※各事業所において把握しておく必要があります。

- ・フロン類の年次報告を行う前に、報告対象年度の移動報告実施状況（%表示）を確認します。報告状況が低い場合には再利用連絡画面等を確認し、報告対象年度分の連絡忘れがあった場合、再利用車台連絡等を行うようにしてください。報告期間中（報告年度の4/1～4/30）は修正可能です。
- ・報告がなされていない場合、報告が実施されるまで、メニュー画面上に「フロン類年次報告を忘れずに報告してください」と赤字で警告表示されます。
- ・報告期限（4/30）を超えても未報告の場合は、当該事業所のフロン類年次報告がなされていない旨が情報管理センターから都道府県等へ報告されます。なお、回収実績が「0」の場合でも報告が必要となります。

※ 詳細は「パソコンを利用した移動報告（電子マニフェスト）詳細マニュアル フロン類回収工程編」をご覧ください。

5. その他

(年次報告方法)

(1) 報告年度の選択

報告対象年度の選択をします。

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 > 報告年度の選択 (JPRS2600)

メニューに戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

4/1~4/30の期間は、前年度の報告内容を変更することが可能です。
5/1以降に変更する際は、年次報告が既に完了していますので、いったん取消してから再報告してください。

1. 報告実施事業者(自社)情報

事業所コード 93303303930 事業者/事業所名 (詳細) 品川解体工業(株)品川工場

2. フロン類年次報告の対象年度選択

報告対象年度	報告状況	報告選択
2006年度分	未実施	選択
2005年度分	済	選択

メニューに戻る

① 報告対象年度を確認し、「選択」ボタンをクリックします。

※ 報告対象年度として、前年度および前々年度が表示されます。前々年度分が未報告の場合、はじめに前々年度分の報告がなされないと前年度分の報告はできません。

(2) 年次報告

選択した報告対象年度の実績を情報管理センターへ報告します。

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 > 情報管理センターへの報告 (JPRS2601)

メニューに戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

2007年度分のフロン類再利用等に関する報告

報告日 2008/04/03 (注)対象年度のフロン類再利用車台連結が不十分な場合、右下の「再利用連結画面」をクリックし、再利用車台連結を行った後に本画面でフロン類再利用量の年次報告を行うようにして下さい。

1. 対象期間

対象期間 2007/04/01 ~ 2008/03/31(2007年度) 報告期限 2008/04/30

2. 報告事業者情報

事業所コード 事業者/事業所名 (詳細) 取扱フロン種別 CFC/HFC

3. 自動車メーカー等に引き渡した量

参考値は3月末時点の移動報告状況をもとに表示しています。
(左)の移動報告の修正を行っても、参考値には反映されません。

(参考) 自動車メーカー等による引取量

フロン種別小計			自動車メーカー等への引取量			合計
CFC	HFC	合計	CFC	HFC	合計	計算
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

4. 自ら再利用した量

参考値は3月末時点の移動報告状況をもとに表示しています。
(左)の移動報告の修正を行っても、参考値には反映されません。

(参考) 再利用連絡済車台数

フロン種別小計			フロン類再利用率			合計
CFC	HFC	合計	CFC	HFC	合計	計算
台	台	台	kg	kg	kg	kg

5. 前年度の3月31日現在で保管していた量

参考値は3月末時点の移動報告状況をもとに表示しています。
(左)の移動報告の修正を行っても、参考値には反映されません。

(参考) 保管車台数

フロン種別小計			フロン類保管量			合計
CFC	HFC	合計	CFC	HFC	合計	計算
台	台	台	kg	kg	kg	kg

メニューに戻る 再利用連絡画面へ センターへ報告

① 当該年度中(4/1 ~ 3/31)に自動車メーカー等(指定引取場所)に引き渡したフロン類の量を入力します。

「計算」ボタンをクリックし、合計値を表示します。

② 各事業所で把握しているフロン類再利用率を入力します。

「計算」ボタンをクリックし、合計値を表示します。

③ 各事業所で把握している3月末のフロン類保管量を入力します。

「計算」ボタンをクリックし、合計値を表示します。

④ 「センターへ報告」ボタンをクリックします。